

# 研究活動に関する業績報告

氏名 久保野 勝男

2022年2月1日現在

## 1. 研究分野

臨床検査の国際標準化に関する研究（臨床化学）、  
 臨床検査技術の質向上と安全管理システムに関する研究（医療安全管理学）、  
 脂質代謝と動脈硬化に関する研究（検査診断学）、  
 臨床検査の精度管理に関する研究（検査総合管理学）

## 2. 研究業績（過去5年間）

| 分類     | 題名、著者(申請者含む)、発行掲載誌名/発表場所・巻号・頁、発行/発表年月など   |
|--------|---|
| ① 原著論文 | <ol style="list-style-type: none"> <li>◎Junichi Koyatsu, Daisuke Nagahama, Kikuo Ikegami, Junko Kumagai, Yutaka Fujii, <u>Katsuo Kubono</u>. Risk management using a “Laboratory Note” in pathologic examination or serodiagnosis contributes to medical safety management. 新潟医療福祉会誌, 2021; 221(2):85-91. (査読あり)</li> <li>阿部 拓也, 藤井 豊, 埴 晴雄, 井口 啓太, 高橋 一哲, 高橋 良光, 渡邊 博昭, 池上 喜久夫, <u>久保野 勝男</u>, 長濱 大輔. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. 超音波検査技術, 2022; 47(1):13-21. (査読あり)</li> <li>◎柴田真由美, <u>久保野 勝男</u>, 他 (12名中2番目). 臨床検査室における受入不可検体の削減に向けたリスクマネジメント. 生物試料分析, 2020; 43(2):153-160. (査読あり)</li> <li>◎中川 友也, <u>久保野 勝男</u>, 他 (8人中7番目). 超音波診断装置における自作ファントムを用いたセクタ探触子の精度管理. 生物試料分析, 2019; 42(2) 109-116. (査読あり)</li> <li>◎齋藤 大造, <u>久保野 勝男</u>, 中川 友也, 佐藤 結香, 小野 等, 長濱 大輔. テキストマイニングを用いた臨床検査部門におけるインシデント・アクシデントレポートの分析, 生物試料分析, 2018; 41(5) 236-242. (査読あり)</li> <li>佐藤 結香, 小野 等, 中川 友也, 齋藤 大造, 中村 藤夫, <u>久保野 勝男</u>, 長濱 大輔, 追手 魏. ウガンダにおける供与された医療機材管理の現状と課題. 新潟医療福祉学会誌, 2017; 17(1) 33-33. (査読あり)</li> <li>◎熊谷 順子, 渡邊 博昭, <u>久保野 勝男</u>, 他. 登録衛生検査所における検体搬送時の温度管理に伴う Risk Management について. 生物試料分析, ;40(2) 130-136. (査読あり)</li> <li>Hirofumi Minomo, Yoshimi Inoue, Takako Iwachido, Hiromi Oota, Koji Otabe, <u>Katsuo Kubono</u>, et. al. (18名中6番目) Consideration for the Validation of Clinical Laboratory Method in Non-Clinical Fields in Japan Society of Clinical Chemistry. Toxicological Science (投稿中) (査読あり)</li> </ol> |
| ② 総説   | <ol style="list-style-type: none"> <li><u>久保野 勝男</u>. 法改正(臨床検査の精度の確保)により教育に求められること. 臨床検査学教育, 2020; 12(1) 32-37. (査読なし)</li> <li><u>久保野 勝男</u>. 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者(管理検査技師)制度と品質保証体制の強化 国際規格と、がん拠点病院、治験などにおける品質保証. 臨床病理, 2019; 67(11) 1164-1170. (査読なし)</li> </ol>  |

|                |  |
|----------------|--|
|                | <ol style="list-style-type: none"> <li>3. <u>久保野 勝男</u>. 【臨床検査の最前線-将来の検査を展望する】総論 臨床検査の将来 臨床検査室の質保証 第三者認定. 医学のあゆみ, 2017; 263(13) 1023-1029. (査読なし)</li> <li>4. <u>久保野 勝男</u>. 臨床検査室の質と能力 ISO15189 が求めるもの. 新潟県臨床検査技師会誌, 2017; 57(4) 214-214. (査読なし)</li> <li>5. <u>久保野 勝男</u>. 国際規格, がん拠点病院, 治験などにおける品質保証. 臨床病理, 2017;67(11) 1164-1170. (査読なし)</li> <li>6. <u>久保野 勝男</u>. 臨床検査室の品質管理手法-品質保証のプロセス管理-. Laboratory and Clinical Practice (Lab CP) 日本臨床検査専門医会誌, 2017; 35(2)69-74. (査読なし)</li> </ol>  |
| ③ 著書           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査法提要 (金井正光監修, 第 35 版): 第 1 章. 臨床検査総論 II. 臨床検査室の第三者認定 (ISO 15189) を分担執筆 (単著) (全 2016 頁中 13 頁)、金原出版 (東京)、2020 年 3 月</li> </ol>  |
| ④ 症例報告<br>(資料) | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高橋一哲、<u>久保野 勝男</u>、他. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. 生物試料分析, 2021; .44(1,2): 20-25. (査読あり)</li> <li>2. 井口 啓太、<u>久保野 勝男</u>、小林 徹、林 美佳子、柴田 真由美、高橋 一哲、阿部 拓也、藤井 豊、池上 喜久夫、長濱 大輔. 臨床検査業務における専門領域以外の検査実施に対する要員教育の検討 ～尿沈渣検査における 2 種類の教育方法を比較検証して～. 生物試料分析, 2021; 44(1,2): 26-33. (査読あり)</li> </ol>   |
| 3. 口頭発表        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・招待講演等</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>Katsuo Kubono</u>. Symposium (External quality Assurance System) , Current Status of External Quality Assurance System in Japan. LMCE2020 &amp; KSLM. (Seoul, Korea) (Web) Sep.24. 2020 (シンポジスト).</li> <li>2. <u>久保野勝男</u>. 法改正 (臨床検査の精度の確保) により教育に求められること. 第 14 回日本臨床検査学教育学会学術大会 (熊本市) 2019 年 8 月. (教育講演)</li> <li>3. <u>久保野 勝男</u>. Lp(a) : Lipoprotein (a) 今昔物語. 第 50 回日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会/生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会合同研修会 (新潟県新潟市) , 2019 年 3 月 (特別講演)</li> <li>4. <u>久保野勝男</u>. 各国の精度管理の状況と我が国の精度管理のあり方. 第 29 回生物試料分析科学会年次学術集会 (岡山市) 2019 年 2 月 (指定講演)</li> <li>5. <u>久保野 勝男</u>. 検体検査の精度・品質に係る医療法等の改正. 平成 30 年度日本臨床検査標準協議会シンポジウム. (東京都千代田区) 2018 年 11 月 (指定講演)</li> <li>6. <u>久保野 勝男</u>. 臨床検査室の品質保証に関する世界的動向と法改正に伴う精度管理体制の構築. 宮城県臨床検査技師会学術研修会 (仙台市) 2018 年 10 月 (特別講演)</li> <li>7. <u>久保野 勝男</u>. 医療法改正の意味と今後の対策. 平成 30 年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部研修会 (魚沼市) 2018 年 10 月 (特別講演)</li> <li>8. <u>久保野 勝男</u>. 品質保証の世界的動向と法改正に伴う精度管理体制の構築. 国立大学法人臨床検査技師会九州ブロック九州 ISO 15189 研究会 (福岡市) 2018 年 7 月 (招待講演)</li> <li>9. <u>久保野 勝男</u>. 臨床検査室の品質保証に関する世界的動向と我が国の規制について. 第 36 回日本臨床化学会甲信越支部総会・第 16 回生物試料分析科学会甲信越支部総会 (長野市) 2018 年 7 月 (教育講演)</li> <li>10. <u>久保野 勝男</u>. 検診機関における腫瘍マーカー検査の精度保証の留意点. 新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門/第 48 回日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会合同研</li> </ol> |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>修会（新潟市）2018年2月（招待講演）</p> <p>11. <u>久保野 勝男</u>. ISO 15189 が求めるもの—臨床検査室認定の意義—. 新潟県臨床検査技師会臨床検査総合部門管理運営研修会.（新潟県長岡市）2017年9月（招待講演）</p> <p>・一般演題等</p> <p>12. <u>久保野勝男</u>. ISO 15189 改定に伴う臨床検査室の対応と POCT を含む検査室の責任. 第 68 回日本臨床検査医学会学術集会.（富山市）2021年11月（シンポジスト）</p> <p>13. 高橋一哲、涌井萌香、嵩岡幸子、芳賀博子、<u>久保野勝男</u>、藤井豊、池上喜久夫、長濱大輔. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. 第 69 回日本医学検査学会（千葉市）2020年9月（一般演題、口演）</p> <p>14. 井口啓太、柴田真由美、小池敦、<u>久保野勝男</u>、藤井豊、池上喜久夫、長濱大輔. 尿沈渣における要員教育と内部精度管理における効果の検証. 第69回日本医学検査学会（千葉市）2020年9月（一般演題、口演）</p> <p>15. 池上喜久夫、橋本れの、高橋雛乃、古谷津純一、小野等、藤井豊、<u>久保野勝男</u>、長濱大輔. 医療安全統計に見る細胞診検査の問題点. 第66回日本臨床検査医学会学術集会（岡山市）2019年11月（一般演題、口演）</p> <p>16. 柴田真由美、笹岡秀之、井口啓太、小池敦、<u>久保野勝男</u>、池上喜久夫、長濱大輔. 魚沼基幹病院における受入不可検体の減少に向けた取り組み. 第68回日本医学検査学会（下関市）2019年5月（一般演題、口演）</p> <p>17. <u>久保野 勝男</u>、池田勝義. 臨床化学検査におけるリスクマネジメントの実践ガイドの必要性. 第58回日本臨床化学会年次学術集会（名古屋市）2018年8月（プロジェクト報告）</p> <p>18. 佐藤結香、小野等、中川友也、斎藤大造、中村藤夫、<u>久保野勝男</u>、長濱大輔、追手巍. ウガンダにおける供与された医療機材管理の現状と課題. 第17回新潟医療福祉学会（新潟県新潟市）2017年10月（一般演題、口演）</p> <p>19. 蓑毛博文、奈良岡準、井上芳巳、<u>久保野勝男</u>、小田部耕二、東山真澄、松本忠郎、豊田直人. 非臨床におけるバイオマーカー測定法バリデーションの重要性. 第44回日本毒性学会学術集会（神奈川県横浜市）2017年10月（一般演題、口演）</p> |
| ⑥ その他 | <p>・研修会講演</p> <p>1. <u>久保野勝男</u>. 脂質検査項目の意味と数値改善への取り組み. 新潟県健康づくり財団「特定健康診査従事者研修会」. 新潟市（Web）2021年3月15日～24日.</p> <p>・臨床検査専門紙</p> <p>2. <u>久保野 勝男</u>. 国内外における臨床検査の規制、第三者評価の仕組み 第6回目「標準化された臨床検査室」（遺伝子検査や先端医療における検査室の品質保証）. Medical &amp; Test Journal（1407号）2017年11月.</p> <p>3. <u>久保野 勝男</u>. 国内外における臨床検査の規制、第三者評価の仕組み 第5回目「技能試験」. Medical &amp; Test Journal（1404号）2017年10月.</p> <p>4. <u>久保野 勝男</u>. 国内外における臨床検査の規制、第三者評価の仕組み 第4回目「標準物質とトレーサビリティ・不確かさ」. Medical &amp; Test Journal（1401号）2017年9月.</p> <p>5. <u>久保野 勝男</u>. 国内外における臨床検査の規制、第三者評価の仕組み 第3回目「臨床</p>  |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>検査室の品質マネジメントシステム (ISO 15189)」. Medical &amp; Test Journal (1397号) .2017年8月.</p> <p>6. <u>久保野 勝男</u>. 国内外における臨床検査の規制、第三者評価の仕組み 第2回目「臨床検査に関連する国際標準」 Medical &amp; Test Journal (1394号) 2017年7月.</p> <p>7. <u>久保野 勝男</u>. 国内外における臨床検査の規制、第三者評価の仕組み 第1回目「米国、欧州における臨床検査室の品質管理と規制」. Medical &amp; Test Journal (1391号) 2017年6月.</p> |
|--|--|

### 3. 外部研究費 (過去5年間)

| 外部研究費、代表分担区分、期間、研究経費 |
|----------------------|
| なし                   |
|                      |